「かいづか家族の日」コンクール表彰式

問合せ先　社会教育課☎072－433－7125

市では、11月の第３日曜を「かいづか家族の日」とし、今年は11月21日(日)にコンクール表彰式を開催しました。

今年から絵画コンクールを加え「家族」をテーマにエッセイ・写真・絵画作品を、また「貝塚産の食材を使ったパスタ」をテーマに料理レシピを募集し、４部門応募総数549作品の中から合計30作品が入賞されました。大変多くのかたにご応募いただき、ありがとうございました。

市は、平成30年に「あったか家族都市」宣言を制定しました。今後も家族のありかたや大切さを改めて見つめなおすことができるような「かいづか家族の日」の取組みを推進していきます。

表彰式　料理部門

料理部門最優秀賞　杉本芽生子さん　龍一さん

「おじいちゃんのかぼちゃとベーコンのクリームソース」

料理コンクール審査員
松本秀夫さん (貝塚市プレミアムサポーター・元 辻調理師専門学校技術顧問)
安場昌子さん (大阪あべの辻調理師専門学校日本料理教授・市内在住)

料理講評　安場昌子さん

どのレシピも、家族のためを思った料理で、みんなが笑顔で食事をしている風景が感じ取られました。苦手な食材を食べやすく調理したら、克服できるかな？や、収穫した野菜で素材の味を大切にしながら料理したりと、いろんなアイデアがあふれていました。

これからも家族の時間を大切にして、料理を通じて色々な話をしてほしいと思います。食べた時にどんな反応をするだろうって考えながら作るって楽しいですよね。これからも、もっともっと喜んでもらえる料理を協力して作ってくださいね。

絵画部門最優秀賞　福井大地さん

「家ぞくのわ」
（作品は表紙に掲載しています）

表彰式　絵画部門

絵画講評　審査員 幾田邦華さん

[(一社)元展美術協会理事・市内在住]

今年から絵画も加わり、コロナ禍での家族のありかた、大切さを子どもたちは絵を通して改めて見つめ直すきっかけができました。作品を１点１点丁寧に見せていただいたのですが、どの作品も一生懸命描けており、家族が大好き、絵を描くのも楽しいという印象を受けました。

子どもの可能性、能力は計り知れないものがあります。その中で周りの大人がその才能を見い出し、能力を引き出し、よい環境でその個性を伸ばすことができるよう、これからも温かく見守っていってほしいと願っています。

「夏休み、ひぃばぁちゃんと虫取りざんまい」

写真部門最優秀賞　時本愛歌さん

表彰式　写真部門

写真講評

エッセイ・写真コンクール審査副委員長
朝倉康則さん [(公社)日本写真協会会員・フォトグラファー・市内在住]

審査するにあたり、どの作品を入賞にもってくるか非常に迷いました。年々みなさんの写真の腕があがってきていて差が縮まっていると感じています。

特に今年の作品は、コロナ禍とうまく付き合っていこうとしている中で、日常生活の写真を撮られたと思います。こういった一場面を切り取ることは、なんでもないことなんですが、そこから良い写真が生まれます。そういった意味で、よく頑張って撮られたと思います。

表彰式　エッセイ部門

エッセイ講評

エッセイ・写真コンクール審査委員長
吉村萬壱さん（芥川賞作家・市内在住）

良い作品がたくさんありました。耳の不自由な作者、通訳を買って出た娘たち、それを快く受け入れた星空ツアーのガイドさん、この三者が美しい星座を形作った最優秀作の見事さ。

他にも、亡くなった家族を含めてずっと一緒の家族なんだという気持ちが胸に迫る作品、家族の愛情を受けて自分の存在の大きさを自覚し大人へと一歩近づいた子どもの作品、家族みんなが似た爪を持っているところに着眼したユニークな作品、役者揃いで家族の顔が見えるような作品など…どの作品も家族愛にあふれていて読み応えがありました。

エッセイ部門最優秀賞

私の小さな通訳者達

松下恵さん

私は耳が不自由であり、２人の娘を持つ母親です。父親もまた耳が聞こえません。私達と子供達との日常生活での会話は手話を使ったコミュニケーションで成り立っています。

時折、子供達は手話を使わなければならない義務感でふびんな思いをさせているだろうかと思う事があります。

その気持ちをふき飛ばしてくれる出来事が今年の夏休みに星空ガイドツアーに行った時の事です。このツアーを申し込んだ時、最初はすぐに良い返事を頂けませんでした。なぜならこのツアーではガイドさんが真っ暗な道を歩きながら星の説明をするので耳が聞こえない方には話が伝わらないかも知れないからです。確かに私達は同時進行は難しいけれど子供達に経験させて星の事を知って欲しい気持ちをガイドさんに伝えた時、ずっとそばで聞いていた娘が突然私達の通訳が出来るから大丈夫と話してくれました。それを見たガイドさんは驚きながらも快く引き受けてくれました。娘の行動がガイドさんの気持ちを動かしてくれたと思います。こうして天の川が降り注ぐ道を歩きながらガイドさんの話を通訳する長女とライトで口を照らしてくれる次女と皆で星空を見る事が出来ました。ありがとう、私の小さな通訳者達。

気付いているかな。星の説明をしてくれた時からあなた達も星のガイドさんだよ。

料理コンクール入賞６チームのレシピ、エッセイ・写真・絵画コンクールの最優秀賞・優秀賞作品は、ホームページをご覧ください